

第7次土佐町振興計画（第2次総合戦略一体型）策定支援業務 仕様書

1. 業務名

第7次土佐町振興計画（第2次総合戦略一体型）策定支援業務

2. 業務の目的

本業務は、「第6次土佐町振興計画」が2019年度をもって計画期間が終了することを受けて、2020年度から2029年度を計画期間とした「第7次土佐町振興計画」を策定することを目的とする。

また、人口減少克服・地方創生を目的とした「土佐町総合戦略」も2019年度をもって計画期間が終了する。次期総合戦略については、「第7次土佐町振興計画」における重点プロジェクトとして振興計画の前期基本計画に位置付け、両計画を一体的に策定するものとする。

なお、計画策定に当たっては、町が高知大学と連携して実施している幸福度調査の結果を踏まえ、施策との関連付けや体系整理を行うなど、将来の住民生活の幸福度をより向上させることを視野に、計画づくりをすすめることとする。

また、持続可能な地域経営（自治体SDGs）の理念のもと、本町の課題や状況を客観的に分析するとともに、町の施策と国連で世界各国が合意したSDGsの目標及びターゲットとの関連付けや体系整理を行うなど、SDGs達成を視野に入れた計画づくりをすすめる。

加えて、時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るために、未来技術による地方創生を推進する。Society5.0の実現に向けた技術は、従来の生産・流通や生活に不連続かつ飛躍的な進歩をもたらすものであり、本町のような地方においてこそ効果が発揮できるものとする。未来技術の活用を振興計画及び総合戦略の横断分野と位置付け、地域特性に応じて計画づくりをすすめる。

3. 委託期間

契約締結日から2020年3月31日まで

4. 業務の概要

■主な業務

(1) 土佐町の現況把握及び構造の分析

町及び県等の既存地域資料（各種計画書等）を収集・分析するとともに、現況基礎データを収集・整理し、計画策定の基礎とする。また町が高知大学と連携して実施している幸福度調査についても、分析結果を計画策定に反映させていく。高知大学との連携に係る経費については受託者が負担することとする。

(2) 住民アンケート調査の実施と報告書の作成

振興計画策定のための基礎調査として、アンケート調査を実施する。回収されたアンケートの回答は、入力・集計を経て報告書としてとりまとめ、計画への反映を行う。

- ・対象者及び票数

一般住民：2,000票（回収率見込み：50%）

- ・アンケート調査実施に係る作業分担調査票案の作成と補修正

回収アンケートの入力

自由記述回答部分の整理

単純集計・クロス集計

調査結果の分析

アンケート結果報告書案の作成と補修正

アンケート結果報告書の印刷製本

(3) 現行計画の進捗状況の確認

現行計画の施策ごとに達成度を評価するために、各課に向けたシート調査を実施する。シートフォームの提案や調査結果のとりまとめ等を行うとともに、計画への反映を行う。また、必要に応じて、各課ヒアリングを実施し、計画策定の基礎とする。

①第6次振興計画

現行計画の施策、目標指標等の進捗・達成状況等を把握し、その効果や達成状況の要因、課題等を評価・検証する。

②第1期総合戦略

第1期総合戦略の具体的な取組の進捗状況やKPI（重要業績評価指標）等の達成状況について把握し、それぞれの効果や達成状況の要因、課題等を評価・検証する。

(4) 人口ビジョンの見直し

現行の土佐町人口ビジョンの推計値と実績値の乖離等を分析・検証をしたうえで、最新の人口データに基づき、将来人口を推計する。

また、アンケート調査等の基礎調査結果を踏まえ、土佐町の人口変動要因やその改善のための課題を分析し、人口に関して目指すべき将来の方向案を提示した上で、土佐町の示す方針に基づき、土佐町が目指す人口水準、地域社会像等の将来展望を記載した「人口ビジョン」素案を作成する。

(5) 町民ワークショップ実施支援

住民参画の一環として、基本構想で設定するまちの将来像を住民とともに考えるためのワークショップを実施する。実施に際しては、必要な支援（企画提案、資料作成、職員自らワークショップを運営できるような技術支援等）を行い、計画への反映を行う。

(6) 中学生ワークショップ実施支援

土佐町が目指す将来像を共に考えるため、一般町民だけではなく、次代を担う中学生を対象にワークショップを実施する。実施に際しては、必要な支援（企画提案、資料作成、ファシリテーターの配置等）を行い、計画への反映を行う。

(7) 職員ワークショップ及び職員研修の実施支援

職員が自ら意見を出し、今後の土佐町を自らがつくっていくためのワークショップを実施する。実施に際しては、必要な支援（資料作成、ファシリテーターの配置等）を行い、計画への反映を行う。また、職員自ら町民等ワークショップを運営できるよう、職員研修を実施し、運営手法等についての説明やロールプレイング等の演習を行う。

(8) トップインタビューの実施

町長に対してインタビューを実施して、将来に向けた課題やまちづくりの方向性などを把握

し、計画策定の基礎とする。

(9) 主要課題の整理

(1) から (8) までの調査結果を踏まえ、「土佐町総合戦略」と一体となった「土佐町第7次振興計画」の策定に向けたまちづくりの課題について、体系的に整理する。

(10) 土佐町第7次振興計画案の策定

基礎調査の結果等をもとに計画素案を策定し、事務局との打合せや策定委員会等での協議・調整を踏まえて補修正する。

「土佐町第7次振興計画」においては、「基本構想」・「基本計画」の枠組みに準拠しつつ、「第2期総合戦略」については、「基本計画」の中の重点プロジェクトとして位置づける。

なお計画案作成に当たっては、幸福度調査結果に加え、SDGsを始め、国や県の最新動向等を踏まえることとする。

①基本構想

- ・将来像、基本理念、基本目標、施策体系、関連するKGI等の提案
- ・上記を踏まえた基本構想素案の作成

②重点プロジェクト（第2次総合戦略）

- ・基本的考え方や基本目標等の提案
- ・取組内容、取組スケジュール、関連するKPI等の提案

③基本計画

- ・重点プロジェクト（第2次総合戦略）と整合した計画体系及び施策の展開内容の提案
- ・取組内容、取組スケジュール、関連するKPI等の提案
- ・上記を踏まえた基本計画素案の作成

(11) パブリック・コメントの実施支援

第7次振興計画の庁内案がほぼ確定した段階で行うパブリック・コメントに際し、実施に関するアドバイス、意見への対応案の作成、計画への反映などを行う。

(12) 策定委員会等の運営支援

策定委員会（4回程度）・審議会（4回程度）等に参加し、運営支援（資料等や議事録要旨の作成など）を行う。

(13) 概要版及びガイドブック（住民向け）の原稿作成

確定した第7次振興計画を踏まえ、計画内容を要約した概要版及びガイドブックの原稿を作成する。計画の内容を住民に周知するという目的を勘案して、住民目線でわかりやすくとりまとめる。

5. 成果品

- (1) アンケート結果報告書 簡易製本1部
- (2) 計画書 簡易製本1部
- (3) 計画書概要版 PDF データ納品
- (4) 計画ガイドブック（住民向け） PDF データ納品
- (5) 本業務関連の電子データ一式（CD-ROM）

6. その他

- (1) 本業務を進めるにあたって、個人情報及びプライバシーの保護が必要であることから、受託者は、土佐町個人情報保護条例を順守するとともに、「プライバシーマーク」認証を要する。
- (2) 本業務の内容については、業務完了後も含み、秘密を守り、本町の許可なく第三者に公表、転用及び貸与してはならない。
- (3) 成果品に係る著作権・著作権等の権利は町に帰属するものとする。
- (4) この仕様書に定めるもののほか必要な事項が生じた場合は、その都度協議するものとする。